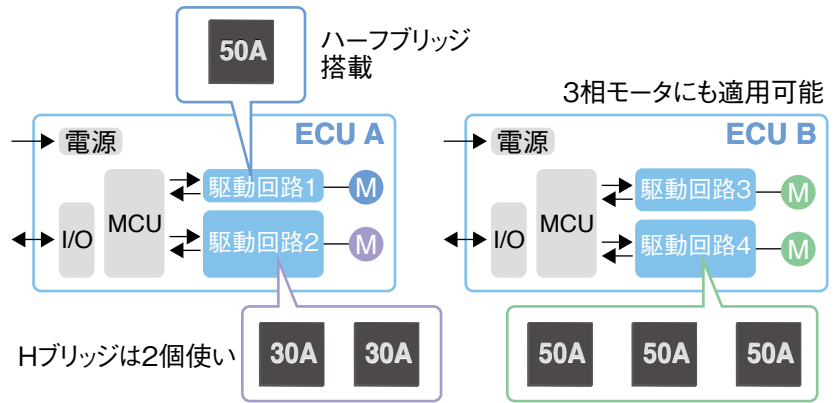
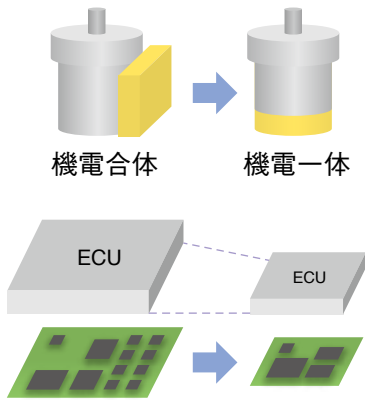


車載用アナログパワーデバイス 製品：ハーフブリッジMCP TB9111FTG

システムの機電一体化が進み続けていて、ECUの小型化が求められています。それに伴って半導体部品の小型化・集約化が必要となっています。そのようなニーズに応えるべく、東芝はFETとプリドライバのMCPを開発しています。

ECU小型化、モジュール化、機電一体が加速

部品共通化:ハーフブリッジ構成



ボディ系向けに30~50Aクラス製品化予定
(パワースライドドア、パワーバックドア、ドアクローザー、パワーシート、パワーウィンドウ、サンルーフ、ワイパー、ほか)



パワースライドドア



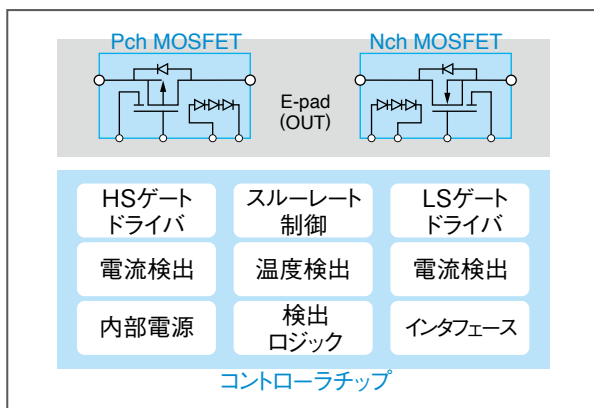
パワーバックドア



パワーシート

▼ ハーフブリッジMCP: TB9111FTG 開発中

豊富な異常検知機能を内蔵、部品点数の削減が可能



<概略仕様>

- 構成: 3チップ構成
- パッケージ: WFQFN48-0909-0.65 裏面E-pad
- オン抵抗: 約10mΩ (Pch+Nchトータル)
- 駆動電流: 35A (電流リミッタON時), 54A (同OFF時)

<内部機能>

- FET部
- ハイサイド Pch FET (チャージポンプ・レス)、ローサイド Nch FET
 - 温度センス用Diode/電流センス端子装備
- コントローラ部
- FET制御プリドライブ
 - スルーレート制御 ~EMC低減~
 - 電流リミッタ (Pch/Nch FET) ICピンによりON/OFF可能
 - 電流モニタ端子 (Pch FETのみ)
 - 内部用5V電源内蔵
 - 検出機構
低電源、過電流 (Pch/Nch FET)
過熱 (Pch/Nch FET、コントローラ)、予報 (Pch/Nch FET)

